

芽室町農作物生育状況定期調査報告書（令和6年8月1日現在）

	生育良否	概況	生育期節				農作業状況																																										
			項目	月日		遅速	作業名	月日		遅速進捗																																							
				本年	平年			本年	平年																																								
秋まき小麦 (きたほなみ)	並	<ul style="list-style-type: none"> 成熟期は、6日早かった。 収量は、きたほなみが平年よりやや少なく、ゆめちからでは平年よりやや多い。 収穫作業は、7日早く始まり、好天が続いたことで収穫後も7日早かった。 タンパクは、基準値内が見込まれる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">きたほなみ</th> <th colspan="4">ゆめちから</th> </tr> <tr> <th colspan="2">10a当たり収量</th> <th rowspan="2">整粒率</th> <th rowspan="2">タンパク</th> <th colspan="2">10a当たり収量</th> <th rowspan="2">整粒率</th> <th rowspan="2">タンパク</th> </tr> <tr> <th>粗原</th> <th>製品</th> <th>粗原</th> <th>製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本年値</td> <td>(646 kg)</td> <td>(581 kg)</td> <td>(90.0 %)</td> <td>(11.3 %)</td> <td>(636 kg)</td> <td>(622 kg)</td> <td>(97.7 %)</td> <td>(14.0 %)</td> </tr> <tr> <td>平年値</td> <td>657 kg</td> <td>623 kg</td> <td>94.7 %</td> <td>12.1 %</td> <td>592 kg</td> <td>565 kg</td> <td>95.3 %</td> <td>14.6 %</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注) 本年値は、共乾の受入検査実績（農産課）</p>		きたほなみ				ゆめちから				10a当たり収量		整粒率	タンパク	10a当たり収量		整粒率	タンパク	粗原	製品	粗原	製品	本年値	(646 kg)	(581 kg)	(90.0 %)	(11.3 %)	(636 kg)	(622 kg)	(97.7 %)	(14.0 %)	平年値	657 kg	623 kg	94.7 %	12.1 %	592 kg	565 kg	95.3 %	14.6 %	成熟期	7/13	7/19	早 6	収穫始	7/17	7/24	早 7 100%
					きたほなみ				ゆめちから																																								
					10a当たり収量		整粒率	タンパク	10a当たり収量		整粒率	タンパク																																					
			粗原		製品	粗原			製品																																								
本年値	(646 kg)	(581 kg)	(90.0 %)	(11.3 %)	(636 kg)	(622 kg)	(97.7 %)	(14.0 %)																																									
平年値	657 kg	623 kg	94.7 %	12.1 %	592 kg	565 kg	95.3 %	14.6 %																																									
				収穫期	7/19	7/27																																											
				収穫終	7/23	7/30																																											
ばれいしょ	並	<ul style="list-style-type: none"> 塊茎数は少ない傾向にあるが、塊茎肥大は早生品種が良好で、中生は平年並である。 ライマン価（比重）は、早生品種が高く、中生では平年並である。 干ばつによるほ場間差が大きい。 塊茎の内部障害はほとんど見られないが、土壌病害の発生が見られる。 二次生長の発生は、現状は軽微ではあるものの、今後、一部品種（マチルダ）においては心配される。 				早 3																																											
大豆 (ユキシズカ)	良	<ul style="list-style-type: none"> 生育は、平年より進んでいる。 砂質ほ場や石礫の多いほ場では、干ばつの影響から莢の伸長が遅れている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>茎長</th> <th>葉数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本年値</td> <td>54 cm</td> <td>10.6 葉</td> </tr> <tr> <td>平年値</td> <td>61 cm</td> <td>10.7 葉</td> </tr> </tbody> </table>		茎長	葉数	本年値	54 cm	10.6 葉	平年値	61 cm	10.7 葉	開花始	7/12	7/17	早 8																																		
				茎長	葉数																																												
			本年値	54 cm	10.6 葉																																												
平年値	61 cm	10.7 葉																																															
開花期	7/13	7/18																																															
小豆 (きたろまん)	竹良	<ul style="list-style-type: none"> 茎長は平年よりやや高く、葉数も多い。 開花期は、平年より7日程度早かったが、開花後の高温により、下位部の落花が見られている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>茎長</th> <th>葉数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本年値</td> <td>39 cm</td> <td>10.8 葉</td> </tr> <tr> <td>平年値</td> <td>36 cm</td> <td>9.8 葉</td> </tr> </tbody> </table>		茎長	葉数	本年値	39 cm	10.8 葉	平年値	36 cm	9.8 葉	開花始	7/16	7/23	早 9																																		
				茎長	葉数																																												
			本年値	39 cm	10.8 葉																																												
平年値	36 cm	9.8 葉																																															
開花期	7/17	7/24																																															
てんさい	竹良	<ul style="list-style-type: none"> 根部肥大は、平年より進んでいる。 褐斑病は、初発程度の発生で拡大は見られていない。 砂質ほ場や石礫の多いほ場を中心に、高温、干ばつの影響による下葉の枯死が見られているが、萎れについては降雨を受け回復してきている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">移植</th> <th colspan="3">直播</th> </tr> <tr> <th>草丈</th> <th>葉数</th> <th>根周</th> <th>草丈</th> <th>葉数</th> <th>根周</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本年値</td> <td>56 cm</td> <td>27.2 葉</td> <td>33.9 cm</td> <td>59 cm</td> <td>23.6 葉</td> <td>28.3 cm</td> </tr> <tr> <td>平年値</td> <td>67 cm</td> <td>29.0 葉</td> <td>30.4 cm</td> <td>70 cm</td> <td>23.3 葉</td> <td>25.1 cm</td> </tr> </tbody> </table>		移植			直播			草丈	葉数	根周	草丈	葉数	根周	本年値	56 cm	27.2 葉	33.9 cm	59 cm	23.6 葉	28.3 cm	平年値	67 cm	29.0 葉	30.4 cm	70 cm	23.3 葉	25.1 cm				早 8																
					移植			直播																																									
			草丈		葉数	根周	草丈	葉数	根周																																								
			本年値	56 cm	27.2 葉	33.9 cm	59 cm	23.6 葉	28.3 cm																																								
平年値	67 cm	29.0 葉	30.4 cm	70 cm	23.3 葉	25.1 cm																																											

芽室町農作物生育状況定期調査報告書（令和6年8月1日現在）

	生育 良否	概 況	生 育 期 節			農 作 業 状 況													
			項目	月 日		遅速	作業名	月 日		遅速 進捗									
				本年	平年			本年	平年										
牧 草	竹不	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は、収穫後の降雨不足と高温、干ばつの影響から平年より低く、生育量もかなり劣る。 また、ほ場内の株の個体差が大きく、収穫時期の判断が難しいとともに品質低下も懸念される。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr><th colspan="2">草 丈</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>本 年 値</td><td>55 cm</td></tr> <tr><td>平 年 値</td><td>70 cm</td></tr> </tbody> </table>	草 丈		本 年 値	55 cm	平 年 値	70 cm			遅 7	収穫始	-	8/20	1%				
草 丈																			
本 年 値	55 cm																		
平 年 値	70 cm																		
とうもろこし (RM90)	竹良	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年並みで葉数は多い。 雄穂抽出期、絹糸抽出期ともに平年より7日早く、昨年並だった。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr><th>草 丈</th><th>葉 数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>本 年 値</td><td>299 cm 18.9 葉</td></tr> <tr><td>平 年 値</td><td>298 cm 17.3 葉</td></tr> </tbody> </table>	草 丈	葉 数	本 年 値	299 cm 18.9 葉	平 年 値	298 cm 17.3 葉	雄穂抽出期	7/21	7/28	早 6							
草 丈	葉 数																		
本 年 値	299 cm 18.9 葉																		
平 年 値	298 cm 17.3 葉																		
		絹糸抽出期	7/23	7/30															
		乳熟期	-	8/21															
ながいも	良	<ul style="list-style-type: none"> 新生いもの肥大は、良好で昨年並である。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr><th>いも長</th><th>いも径</th><th>いも重</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>本 年 値</td><td>44 cm</td><td>33 mm</td><td>173 g</td></tr> <tr><td>平 年 値</td><td>35 cm</td><td>30 mm</td><td>116 g</td></tr> </tbody> </table>	いも長	いも径	いも重	本 年 値	44 cm	33 mm	173 g	平 年 値	35 cm	30 mm	116 g			早 7			
いも長	いも径	いも重																	
本 年 値	44 cm	33 mm	173 g																
平 年 値	35 cm	30 mm	116 g																
ごぼう	良	<ul style="list-style-type: none"> 根部肥大は、良好で昨年並である。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr><th>根長</th><th>根径</th><th>根重</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>本 年 値</td><td>55 cm</td><td>15 mm</td><td>65 g</td></tr> <tr><td>平 年 値</td><td>43 cm</td><td>14 mm</td><td>51 g</td></tr> </tbody> </table>	根長	根径	根重	本 年 値	55 cm	15 mm	65 g	平 年 値	43 cm	14 mm	51 g			早 7			
根長	根径	根重																	
本 年 値	55 cm	15 mm	65 g																
平 年 値	43 cm	14 mm	51 g																
たまねぎ	竹不	<ul style="list-style-type: none"> 生育は、平年よりやや進んでいる。 収穫作業は、極早生品種で始まっており、球肥大は良好である。 中生以降の品種は、高温により、急激に倒伏が進んでおり、今後の球肥大が心配される。 高温および土壌水分不足により紅色根腐病の発生が散見される。 			-	収穫始	-	8/19	1%										
スイートコーン (加工用)	竹不	<ul style="list-style-type: none"> 生育は、平年よりかなり進んでおり、昨年並である。 収穫作業は、8月2日から試験的に開始が見込まれる。 生食用の収穫作業が始まっており、雌穂重はやや軽い。また、砂質土壌や石礫の多いほ場においては、干ばつによる下位葉の枯れが見られ、雌穂重がかなり軽く、L規格割合が多い。 			早 7	収穫始	-	8/15	-										